

令和 5 年度全国学力・学習状況調査について

令和5年度全国学力・学習状況調査について

1 調査目的

- ◇義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析すること及び教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るために文部科学省が実施。
- ◇学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てるとともに、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立するために活用される。

2 調査実施日

令和5年4月18日(火)
(中学校英語「話すこと」調査については4月18日から5月26日(金)まで)

3 調査対象

国・公・私立学校の小学校・特別支援学校小学部 第6学年児童
国・公・私立学校の中学校・中等教育学校・特別支援学校中学部 第3学年生徒
原則として全児童生徒

4 本県における実施状況(公立学校)

調査対象児童生徒の在籍する学校数・児童生徒数

- ・小学校 160校 約5500名(うち、小学校1校は未実施)
(市町村立:159校、特別支援学校1校)
- ・中学校 81校 約5600名
(市町村立:76校、県立:5校〔中学校2校、中等教育学校1校、特別支援学校2校〕)

5 調査内容

(1) 児童生徒に対する調査

① 教科に関する調査(試験時間は小学校各45分、中学校各50分)

小学校:国語、算数

中学校:国語、数学、英語(聞くこと・読むこと・書くこと・話すこと)

- ア 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- イ 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な問題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関する内容

※調査問題では、上記アとイを一体的に問うこととする。

② 質問紙調査

- ・学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関するもの

(2) 学校に対する質問紙調査

- ・指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等

6 文部科学省による調査結果の公表

時期 7月末を予定

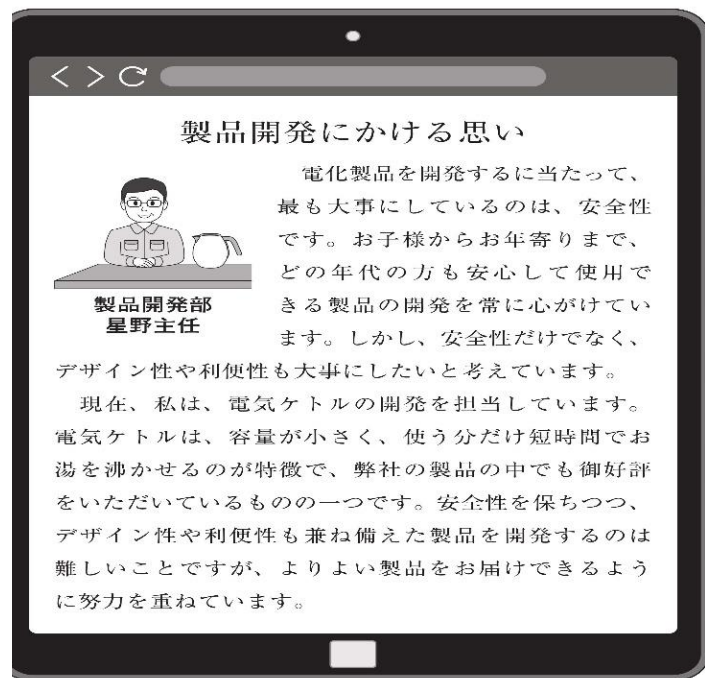
令和5年度全国学力・学習状況調査 特徴的な問題例

中学校国語 ①インタビューをする（社会で働く上で大切なこと）

目的や場面に応じて質問する内容を検討できるかを確認する問題

1 南さんは、総合的な学習の時間に、「社会で働く上で大切なことを考える」という学習に取り組んでいます。インターネットで情報を集めていた南さんは、電化製品を開発している星野さんの記事に興味をもち、会社を訪問して星野さんにインタビューをしました。次の【インターネットの記事】、【インタビューの前に準備したメモ】、【インタビューの様子】を読んで、あとの問いに答えなさい。

【インターネットの記事】



【インタビューの前に準備したメモ】

〈インタビューの目的〉

星野さんの製品開発に対する思いを聞き、自分の考えの参考にする。

〈インタビューを通して知りたいこと〉

- ・「安全性だけでなく、デザイン性や利便性も大事にしたい」と考えるのはどうしてか。
- ・「安全性を保ちつつ、デザイン性や利便性も兼ね備えた製品を開発するのは難しい」とあるが、具体的にどのような難しさがあるのか。
- ・社会で働く上で何が大切だと思うか。

【インタビューの様子】

南 青空中学校の南と申します。先日、インターネットで、星野さんの記事を見ました。今日は、星野さんの製品開発に対する思いについて、詳しくお聞きしたいと思います。よろしくお願ひします。

星野 こちらこそ、よろしくお願ひします。

南 早速ですが、星野さんは、製品開発に当たり「安全性だけでなく、デザイン性や利便性も大事にしたい」とおっしゃっていました。そのように考えるのはどうしてですか。

星野 はい。お客様の安全を守るための配慮をすることは当然なのですが、それだけでは不十分で、お客様のニーズに応じた多様なデザインや、年代を問わず手軽に使用できる利便性が求められるからです。お客様向けのアンケート調査などからも、そういった声が多く聞かれます。例えば、電気ケトルは何かのはずみで倒れる可能性があります。だからといって、倒れにくい形状にすることだけを考えると、デザイン性が損なわれてしまいます。私たちが開発している電気ケトルは、デザイン性に配慮しつつも、倒れたときに熱湯がこぼれにくい構造になっています。このように、安全性とデザイン性との両立を図っています。

南 なるほど、いろいろなことを想定しながら開発しているんですね。

星野 そのとおりです。どの製品を開発するに当たっても、お客様のことを第一に考えています。製品を使用してくださるお客様の期待に応えるために、努力は惜しみません。

南 お客様のことを大切に思うのが分かりました。次の質問ですが、先ほど、電気ケトルの安全性とデザイン性との両立についてお話を伺いましたが、安全性と利便性との両立についても、具体的に教えてください。

星野 例えば、利便性との両立という点では、手軽に使うことを重視するお客様も多くいらっしゃるのですが、電気ケトルの軽量化にも努めています。しかし、軽くするために構造を簡素化すると、手に触れる部分に熱が伝わりやすくなってしまうなど、安全性が損なわれることがあります。毎日、こうした課題の解決に頭を悩ませています。

一 南さんの【インタビューの前に準備したメモ】について説明したものと最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 インタビューの目的に沿った質問をするために、知りたいことを整理している。
- 2 質問の内容を相手に明確に伝えるために、言葉遣いや話し方を確認している。
- 3 見通しをもって話を進めるために、質問に対する相手の答えを予想している。
- 4 話題を広げるために、インタビューの目的とは異なる質問を用意している。

二 南さんが【インタビューの前に準備したメモ】に「線部①」「安全性だけでなく、デザイン性や利便性も大事にしたい」と考えるのはどうしてか。」と書いたのは、【インターネットの記事】のどのような点に気付いたからだと考えられますか。次の1から4までのうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 事例は小さされているが、星野さんの考えとは内容が矛盾している点。
- 2 事例は小さされているが、星野さんの考えが書かれていない点。
- 3 星野さんの考えは示されているが、その理由が書かれていない点。
- 4 星野さんの考えと理由は示されているが、理由として不十分である点。

令和5年度全国学力・学習状況調査 特徴的な問題例

小学校算数 ③日常の事象を数理的に捉え数学的に表現・処理すること（分配法則）

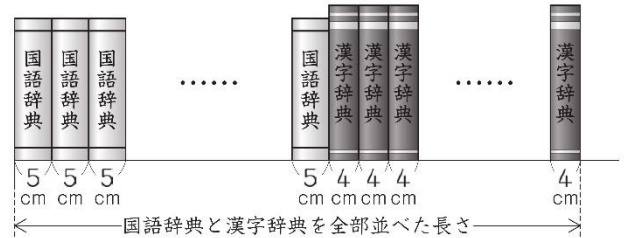
数量の関係に着目して問題場面を解釈し数学的に表現・処理したり、計算に関して成り立つ性質を基に計算の仕方を考えたりすることができるかを確認する問題

3

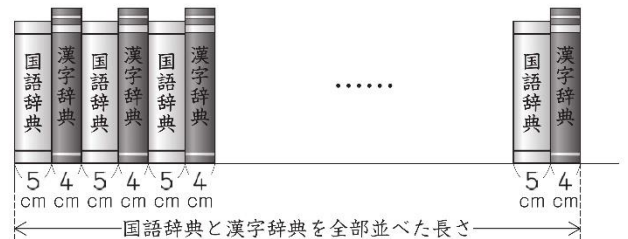
辞典やファイルを、教室の後ろに並べようとしています。

(1) わかなさんの学級では、国語辞典と漢字辞典を1人1冊ずつ使うように、ロッカーの上に並べることにしました。そこで、並べる前に、国語辞典と漢字辞典を全部並べた長さが、どのくらいになるのかを考えています。国語辞典1冊の厚さは5cm、漢字辞典1冊の厚さは4cm、学級の人数は28人です。

わかな 国語辞典と漢字辞典に分けて並べたとして考えます。



あきら 1人分ずつ並べたとして考えることもできます。



ひまり わかなさんの並べ方でも、あきらさんの並べ方でも、どちらも同じ長さになるはずですね。

わかなさんとあきらさんは、国語辞典と漢字辞典を全部並べた長さが、何cmになるのかを計算で求めようと考え、それぞれ自分の並べ方をもとにして、次のような式を書きました。

【わかなさんの式】

$$5 \times 28 + 4 \times 28$$

【あきらさんの式】

$$(5 + 4) \times 28$$

【わかなさんの式】の「 5×28 」と、【あきらさんの式】の「 $5 + 4$ 」は、何を表していますか。

下のア から エ までの中から1つずつ選んで、その記号を書きましょう。

- ア 国語辞典28冊を並べた長さ
- イ 漢字辞典28冊を並べた長さ
- ウ 国語辞典1冊の厚さと漢字辞典1冊の厚さを合わせた長さ
- エ 国語辞典28冊と漢字辞典28冊を並べた長さ

(2) けんたさんの学級では、1人が3種類のファイルを1冊ずつ使うことにしました。それぞれのファイルの厚さは、1.4cm、1.6cm、2cmです。けんたさんの学級の人数は23人です。

下のような、はば120cmのたなに、ファイルを全部並べて入れることができるかどうかを考えています。

